

平成25年度 石油輸送の年度末増送について

平成26年3月12日
日本貨物鉄道株式会社

当社では、平成25年度の年度末において、消費税増税前の駆け込み需要等を踏まえ、コンテナ輸送においては、臨時貨物列車の運転や曜日運休の解除などを行い、列車本数で延べ87本、12フィートコンテナに換算して8,440個の輸送力増強を行いました。

石油輸送においてもコンテナ輸送と同様に、需要増を踏まえ19本の列車を運転する等、輸送力増強を行なっておりましたが、当初の予測を大幅に上回る需要がさらに見込まれることから、一部の石油精製会社様では、休日である3月30日（日）の工場稼働を決定しました。

これを受けて当社においても、同日30日及び翌日の31日に、下記の石油列車を追加で運転し、さらに輸送力の増強を行ないます。

記

1. 3月30日及び31日に追加運転を実施する区間・列車本数

(1) 本輪西	⇒	札幌(夕)	3本
(2) 陸前山王	⇒	盛岡(夕)	2本
(3) 陸前山王	⇒	郡山	1本
(4) 川崎貨物・千葉貨物	⇒	郡山	5本
(5) 川崎貨物・千葉貨物	⇒	宇都宮(夕)	7本
(6) 川崎貨物・千葉貨物	⇒	倉賀野	6本
(7) 川崎貨物	⇒	八王子	1本
(8) 根岸	⇒	川崎貨物	1本

合計 26本

※「(夕)」は「貨物ターミナル」の略

2. 追加輸送量

約1万5700トン